



盛岡の7月前半(1~15日)の最高気温の平均が30・7度となり、盛岡地方気象台の観測統計が残る1924(大正13)年以降、最高を更新した。平年を5・5度上回る。同気象台によると、

盛岡 一番暑い7月前半 最高気温平均30・7度

盛岡の7月前半の過去最高は2011年の30・0度。最低は83年の21・1度。

今後とも真夏日は続く見込み。夏本番はこれからで、熱中症に注意が必要だ。県内は7~15日、高気圧に覆われて晴れた日が多く、日本海や南からの暖気の影響で暑かった。盛岡の最高気温

同気象台によると、盛岡は19日以降、再び真夏日が続く見込み。仙台管区気象台の最新の東北1カ月予報(7月15日~8月14日)も平均気温は高いと見込んでいる。

(2017年7月17日付・岩手日報一面)

1. 7月1~15日の間で、最高気温が平年値より最も大きく上回ったのは、7月何日ですか。

7月10日

2. 7月7~15日が暑かったのは、何の影響からですか。

日本海や南からの暖気の影響

3. 記事に「熱中症に注意が必要」とあります。熱中症予防のために、どんな対策をすればよいでしょう。二つ書きましょう。

・こまめに水分をとる・外に出るときは、帽子や日傘を使う・涼しい服装をする

・日陰を上手に利用する・こまめに休憩をとる・体調が悪いときは無理をしない

など

※盛岡=もりおか、7月前半=7がつぜんはん、最高気温=さいこうきおん、平均=へいきん、度=ど、地方=ちほう、気象台=きしょうだい、観測統計=かんそくとうけい、残る=のこる、大正=たいしょう、以降=いこう、更新=こうしん、平年=へいねん、上回る=うわまわる、今後=こんご、真夏日=まなつび、続く=つづく、熱中症=ねちちゅうしょう、注意=ちゅうい、必要=ひつよう、県内=けんない、高気圧=こうきあつ、覆われ=おおわれ、晴れ=はれ、日=ひ、多く=おおく、日本海=にほんかい、南=みなみ、暖気=だんき、影響=えいきょう、暑かった=あつかった、以上=いじょう、途切れた=とぎれた、連続=れんぞく、記録=きろく、猛暑日=もうしょび、史上=しじょう、最も=もつとも、早い=はやい、時期=じき、超=ちょう、各地=かくち、続いた=つづいた、前半=ぜんはん、過去最高=かこさいこう、最低=さいてい、見込み=みこみ、仙台=せんだい、管区=かんく、最新=さいしん、東北=とうほく、1カ月=いっかげつ、予報=よほう、高い=たかい

年 組 名前